

## 松浦火力発電所 2 号機 低圧タービンロータ落下事故の復旧に向けた取組み等について

## 1. 復旧に向けた取組みについて

平成 26 年 3 月 28 日に発生した、松浦火力発電所 2 号機（長崎県松浦市）の低圧タービンロータ落下事故につきましては、早期発電再開に向け、定格出力による復旧（①現品補修、②新規製作）および部分負荷による仮復旧について、同時並行で検討・実施してきました。

## (1) 現品補修による復旧

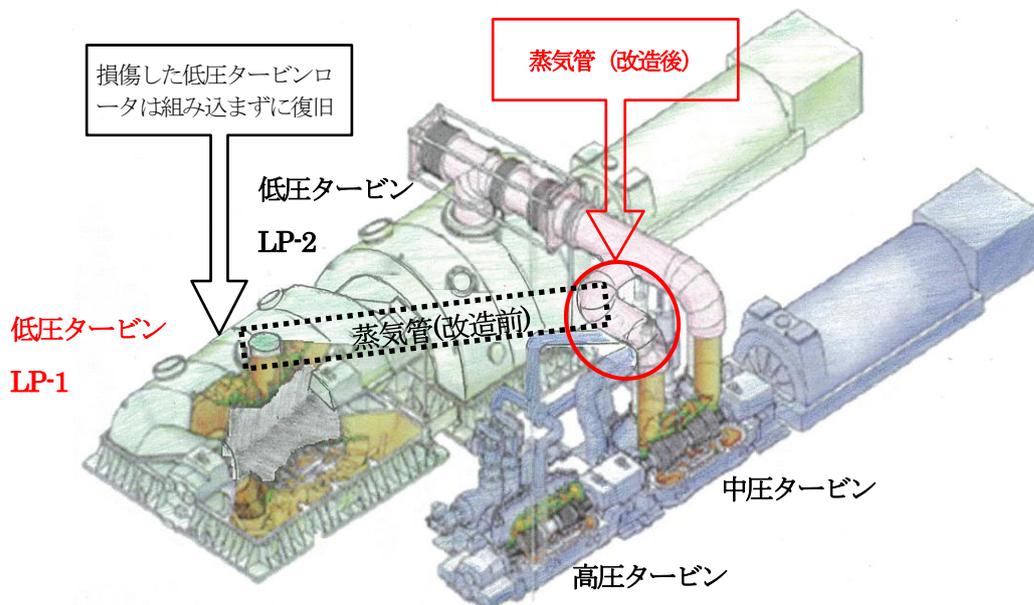
落下した低圧タービンロータについて、メーカ工場で精密検査を実施したところ、再使用による復旧では十分な信頼性を確保することが困難であり、現品補修による復旧は不可と判断しました。

## (2) 部分負荷による仮復旧

本格復旧のための低圧タービンロータの新規製作には時間がかかるため、本格復旧を待たずに可能な限りの出力を確保する方策として、部分負荷による仮復旧の検討を進めました。

この検討の結果、下図のとおり蒸気管を改造の上、部分負荷（42.5 万 kW）にて 8 月 6 日に仮復旧しました。その後現在に至るまで安定運転をしております。

【松浦火力発電所 2 号機 仮復旧図】



## (3) 新規製作による本格復旧

低圧タービンロータの新規製作を進めており、本格復旧（100 万 kW）は、平成 27 年 6 月末としております。（当初想定時期：平成 27 年 12 月）

## 2. 事故原因の究明状況について

事故原因の調査において、設備面等の経年的劣化及び異常・不具合はなく、クレーン操作等の作業面においても事故に直接的に関係した個別要因は確認されておりません。このため、これまでに調査・検証した結果から、本事故との関係が考えられる要因について実機試験による再現確認等を行い、ほぼ絞り込みに至ったことから、これに対する検証を進めております。

また、このプロセスに関しての第三者による検証の観点から、社外有識者の方々による「専門家評価委員会」（委員長：向殿政男 明治大学名誉教授）を設置、事故状況及び原因調査の報告を行っております（4/24 と 8/29 に開催）。引続き、再現確認、解析を進め、恒久的な再発防止策の策定に向け鋭意取り組んで参ります。

以 上

### <松浦火力発電所の概要>

所在地	長崎県松浦市志佐町	
	1号機	2号機
出力	100万kW	42.5万kW
着工	昭和61年3月	平成5年11月
営業運転開始	平成2年6月29日	平成9年7月4日
発電方式	二軸型横置回転界磁3相交流同期発電機	